

生涯教育文献目録 (1998. 1～1998. 12)

日本生涯教育学会

凡 例

- (1) 学会員を対象に 1999 年 5 月から 7 月にかけて行った生涯教育文献調査の回答をもとに、1998 年に発行された文献を収録した。
- (2) 領域別の整理は執筆者自身による回答を尊重し、複数回答のものは、一番最初にあげられた領域のみを採用した。
- (3) 領域は次のとおりである。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 生涯教育一般 | 7 生涯教育と学校教育
(学校改革・学校開放も含む) |
| 1-a 生涯教育の理念 | 8 生涯教育と地域社会 |
| 1-b 生涯教育の歴史 | 9 生涯教育と企業内教育 |
| 1-c 生涯教育の内容 | 10 生涯教育と放送・通信教育 |
| 1-d 生涯教育の方法 | 11 生涯教育と関連教育施設
(生涯教育センター・社会教育
センター・公民館・文化セン
ターなど諸施設論を含む) |
| 1-e 自己(管理的)学習論 | 12 学習情報・相談 |
| 1-f ライフ・サイクル論 | 13 人材活用 |
| 1-g 学習社会論 | 14 生涯教育と行政施策
(答申・報告書等も含む) |
| 1-h その他 | 15 生涯教育の推進事例 |
| 2 生涯教育と青少年教育 | 16 諸外国の生涯教育 |
| 3 生涯教育と成人教育
(婦人教育も含む) | 17 その他 |
| 4 生涯教育と高齢者教育 | |
| 5 生涯教育と社会体育・スポーツ | |
| 6 生涯教育と家庭教育 | |

- (4) 文献は各領域ごとに I～VII に類別した。さらに執筆者(著書、翻訳者、編者)を 50 音順とした。
- (5) 記載事項は次のとおりである。
- 〈単行本〉①編著者名②書名③発行所名
- 〈雑誌・報告書等の論文・記事〉①執筆者名②標題③所収誌名④巻・号
⑤発行所名⑥所収頁
- (6) 頁数の表記は次のとおりとした。
- 3～5 頁→3-5 頁

1 生涯教育一般

I. 著 書

- ・赤尾勝己,『生涯学習概論－学習社会の構想－』, 関西大学出版部, 1-173 頁。
- ・赤尾勝己,『生涯学習の社会学』, 玉川大学出版部, 1-246 頁。
- ・岡本包治,『生涯学習活動のプログラム』, 全日本社会教育連合会, 1-157 頁。
- ・瀬沼克彰,『生涯学習と地域活性化』, 大明堂, 1-277 頁。

II. 編 書

- ・伊藤俊夫,「生涯学習関連施策の動向」, 山本恒夫編『生涯学習概論』, 東京書籍, 39-58 頁。
- ・山本恒夫(編著),『生涯学習概論』(新現代図書館学講座1), 東京書籍, 全 207 頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「生涯学習領域における自発的組織化と指向性」,『淑徳短期大学研究紀要』37 号, 23-34 頁。
- ・池田秀男,「生涯学習指導者の役割構造と研修システム」,『日本生涯教育学会年報』第 19 号, 日本生涯教育学会, 3-24 頁。
- ・瀬沼克彰,「大きく変わる 21 世紀の生涯学習」,『地方自治職員研修』臨増号 No57, 公職研, 72-82 頁。
- ・瀬沼克彰,「生涯学習 Q & A」,『生涯学習空間』No9-13, ボイックス, 5 頁。
- ・瀬沼克彰,「日本の戦後余暇通史 ①～③」,『DP ジール』10 月～12 月号, 余暇開発センター, 28 頁。
- ・蛭田道春,「生涯教育・学習の意味と課題」,『山家学会紀要』創刊号, 山家学会, 121-132 頁。
- ・ブストス・ナサリオ,「学習デパートー流通モデルを用いた生涯学習機会

の提供機構－」、『九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習研究センター紀要』第3号，九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習センター，67－76頁。

- ・山本恒夫，「学社融合の推進」、『埼玉教育』No.600 11月号，埼玉県南教育センター，10－13頁。

V. 編纂書論文

- ・山田誠，「生涯学習の原理」，有吉英樹・小池源吾編『生涯学習の基礎と展開』，コレール社，39－50頁。
- ・山田誠，「学びの再生－生涯学習」，南本長穂・太田佳光編『教育現象を読み解く』，黎明書房，107－124頁。
- ・山本恒夫，「生涯学習と家庭教育・学校教育・社会教育」，山本恒夫編『生涯学習概論』，東京書籍，28－38頁。

1－a 生涯教育の理念

V. 編纂書論文

- ・赤尾勝己，「生涯学習の理念と理論」，有吉英樹・小池源吾編『生涯学習の基礎と展開』，コレール社，13－26頁。
- ・山本恒夫，「生涯学習の意義」，山本恒夫編『生涯学習概論』，東京書籍，11－27頁。

1－b 生涯教育の歴史

IV. 雑誌論文

- ・蛭田道春，「社会教育主事の歴史に関する研究」、『大正大学研究紀要』第83輯，大正大学，141－162頁。

V. 編纂書論文

- ・ブストス・ナサリオ，「生涯学習の歴史的背景」，福留強編『地域アニメーター』，全日本社会教育連合会，12－15頁。

- ・前田寿紀,「長谷川良信における大学拡張・大学セッルメントに関する考察」,『長谷川仏教文化研究所年報』第22号,長谷川仏教文化研究所,183-218頁。

1-c 生涯教育の内容

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「学ぶこと・心満ちること」,『向上』No1033,(財)修養団,6-9頁。
- ・香川正弘,「古典を素材にした生涯学習研究:知的生涯学習の振興に向けて」,『生涯学習フォーラム』第2巻第1号,66-98頁。

V. 編纂書論文

- ・赤尾勝己,「成人教育プログラム計画の理論と課題」,現代アメリカ教育研究会編『カリキュラム開発をめざすアメリカの挑戦』,教育開発研究所,295-316頁。

1-d 生涯教育の方法

I. 著書

- ・坂本登,「グループ・サークルの運営」,赤尾勝己・山本慶裕編『学びのデザイナー-生涯学習方法論-』,玉川大学出版部,115-137頁。

II. 編書

- ・赤尾勝己・山本慶裕編,『学びのデザイナー-生涯学習方法論-』,玉川大学出版部,1-236頁。

IV. 雑誌論文

- ・金藤ふゆ子,「生涯学習プログラム編成における計画・立案の主体別にみた類型とその規定要因」,『日本生涯教育学会年報』第19号,日本生涯教育学会,95-111頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習推進計画の基本」,『生涯学習推進計画の視点と手順』,国立社会教育研修所,3-20頁。

VI. 調査報告

- ・蛭田道春,「環境学習プログラムの企画・立案の手順と視点」,『現代的課題の学習方法開発研究Ⅰ-地域性を生かした環境問題の学習方法開発研究報告書-』,群馬県生涯学習センター,1-5頁。
- ・蛭田道春,「生涯学習事業における市民参加について」,『生涯学習事業における市民参画について』報告書,(財)埼玉県県民活動総合センター,2-6頁。

1-e 自己(管理的)学習論

IV. 雑誌論文

- ・岡本包治,「学ぶことは,人生を大切に生きること」,『清流』第5巻4号,清流出版株式会社,32-33頁。
- ・岡本包治,「『余暇』の自己開発を」,月刊『すこ〜れ』第205号,国際スコール協会,13-16頁。
- ・岡本包治,「余暇の活用計画づくり」,月刊『すこ〜れ』第206号,国際スコール協会,13-16頁。
- ・岡本包治,「余暇活動のあれこれ」,月刊『すこ〜れ』第207号,国際スコール協会,13-16頁。
- ・岡本包治,「何か一つを『モノにする』こと」,月刊『すこ〜れ』第208号,国際スコール協会,13-16頁。
- ・岡本包治,「自分への投資と地域活動」,月刊『すこ〜れ』第209号,国際スコール協会,13-16頁。
- ・岡本包治,「余暇活動への苦言」,月刊『すこ〜れ』第210号,国際スコール協会,13-16頁。
- ・西村美東士,「江戸川区民カレッジ第2次報告-自分を大切にするボラン

ティア準備者たち」,『社会教育』第53巻7号,全日本社会教育連合会,71-73頁。

1- g 学習社会論

V. 編纂書論文

- ・池田秀男,「日本のリカレント教育」,『安田女子大学大学院紀要第3集』,安田女子大学,33-53頁。

1- h その他

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「学習成果を社会に問う」,『社会教育』No626,全日本社会教育連合会,8-11頁。
- ・坂井知志・山本恒夫,「高度情報化にともなう新しい生涯学習支援システムの構想」,『日本生涯教育学会論集』19,日本生涯教育学会,17-24頁。
- ・野村佐和子,「都道府県レベル生涯学習援助システムにおける要素間接続の特徴」,『日本生涯教育学会論集』19,日本生涯教育学会,25-32頁。

V. 編纂書論文

- ・山崎清男,「生涯学習社会の到来」,山崎清男『現代教育学入門』,川島書店,53-72頁。

VI. 調査報告

- ・山本恒夫,「学校外の学習成果の社会的評価システムの構築」,学校外の学習成果の社会的評価システムの構築に関する調査研究会編『学習成果の社会的評価システム構築に関する調査研究』,同会,99-106頁。

2 生涯教育と青少年教育

IV. 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「家庭が育てる子どもの個性・地域が伸ばす子どもの可能性」,『21世紀ぐんまの教育を考える』,上尾新聞社,52-64頁。
- ・岡本包治,「町単独予算で実施した青少年育成事業の研究」,『社会教育』第53巻7号,全日本社会教育連合会,44-47頁。
- ・白木賢信,「青少年の野外教育における生活技術習得活動の分析枠組」,『日本生涯教育学会論集』19,日本生涯教育学会,57-66頁。
- ・田中雅文,「豊かな体験が、なぜ大切なのかー『座遊』の時代の体験学習ー」,『道徳教育』7月号,明治図書,5-9頁。
- ・塚本繁,「『地域学校』の創設ー青少年の望ましい学校外活動」,『福島県ウィークエンドサークル活動報告書』,福島県教育委員会,6-9頁。
- ・西村美東士,「癒しのサンマと若き旅人たちー地域若者文化のはぐくみ方ー」,『青少年問題』45巻11号,青少年問題研究会,34-39頁。
- ・野口和枝,「人間関係論的科目の内容における現状と今後の方向性ー生涯学習時代への実務教育科目へー」,『秋草学園短期大学紀要』第14号,秋草学園短期大学,126-140頁。
- ・野口和枝, LEARNING OR DEVELOPMENT MODELS FOR PRACTICAL BUSINESS EDUCATION, BASED ON TEACHING PORTFOLIO UNIVERSITY OF THE AMERICAS, 1-105頁。
- ・蛭田道春,「身近なところでできる社会参加活動ーボランティア活動の課題と在り方ー」,『あすへの力』第29号,神奈川県青少年総合研修センター,11-13頁。

3 生涯教育と成人教育（婦人教育も含む）

II. 編 書

- ・加藤いつみ,『みんなで楽しむオカリーナ曲集』,プリマ楽器株式会社。

IV. 雑誌論文

- ・岡本包治,「ヘルパー 2 級養成事業を主催する婦人会」,『社会教育』第 53 巻 10 号,全日本社会教育連合会,90-93 頁。
- ・瀬沼克彰,「趣味で実益を得る方法」,『ほんとうの時代』12 月号,PHP 研究所,34-35 頁。
- ・瀬沼克彰,「自立と社会参加を促進する生涯学習」,『季刊スコレー』92 号,全国余暇行政研究協議会,9-14 頁。

V. 編纂書論文

- ・池田秀男,「性差別とその構造的根絶への行動計画」,『現代のエスプリ』366 号,至文堂,67-76 頁。
- ・瀬沼克彰,「余暇をライフワークに」,同時代研究会編『昭和 13 年生まれ』,ホンゴ出版,50-53 頁。
- ・山本恒夫,「社会教育の意義」,山本恒夫編『生涯学習概論』,東京書籍,60-74 頁。

VI. 調査報告

- ・浅井経子,「継続的な学習を通しての資格,修了証等の取得と学習成果の評価の意義」,『学習成果の社会的評価システム構築に関する調査研究報告書』,学校外の学習成果の社会的評価システムの構築に関する調査研究会,34-58 頁。
- ・浅井経子,「TV 会議システムを活用した遠隔講座の方法と課題」,『平成 9 年度新教育メディア研究開発事業実施報告書』,福島県新教育メディア研究開発実行委員会,41-45 頁。
- ・瀬沼克彰,「市民大学の今後の発展のために」,『全国の市区町村における市民大学の研究』,日本余暇文化振興会,69-76 頁。
- ・瀬沼克彰,「住民主導のすみ田生涯学習センターの運営」,『全国の市区町村における市民大学の研究』,日本余暇文化振興会,7-14 頁。
- ・山本慶裕・澤野由起子・鬼頭尚子他,『OECD 国際成人リテラシー調査に対応した成人学習調査に関する研究』(平成 8 ~ 9 年度科学研究費補助

金基盤研究(A)(1)研究成果報告書), 国立教育研究所。

4 生涯教育と高齢者教育

I. 著書

- ・瀬沼克彰,『定年なき余暇活動』, 日本地域社会研究所, 1-296 頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「学習活動・社会参加活動からみた高齢者の可能性」,『教育と情報』478号, 第一法規, 18-23 頁。
- ・岡本包治,「いまなぜ『生涯現役』なのかーいきいき高齢者の学習活動を支援するー」,『社会教育』第53巻1号, 全日本社会教育連合会, 8-12 頁。

V. 編纂書論文

- ・赤尾克己,「高齢化社会における生涯学習政策」, 熊谷一乗・国祐道広・嶺井正也編『転換期の教育政策』, 八月書館, 301-324 頁。
- ・瀬沼克彰,「生きがいづくりの現場から」,『中高年の生きがいづくり』, ダイア高齢社会研究財団, 32-81 頁。

VI. 調査報告

- ・瀬沼克彰,『高齢者の地域社会への参加に関する意識調査』, 総務庁高齢対策室, 1-206 頁。

5 生涯教育と社会体育・スポーツ

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習社会に果たす社会教育の在り方」,『関東甲信越静社会教育研究大会研究集録』, 埼玉県郡市社会教育委員連絡協議会, 4-12 頁。

6 生涯教育と家庭教育

II. 編 書

- ・斎藤哲瑯,「子どもたちは訴える」,『親の子離れ, 子の自立』(明日の家庭教育シリーズ第5巻), 文部省, 28-33頁。

IV. 雑誌論文

- ・岡本包治,「心の教育と親の役割」, 月刊『すこーれ』第211号, 国際スコール協会, 13-16頁。
- ・岡本包治,「問題の家庭・問題の親」, 月刊『すこーれ』第212号, 国際スコール協会, 13-16頁。
- ・岡本包治,「子どもの教育ができない親たち」, 月刊『すこーれ』第213号, 国際スコール協会, 13-16頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「母は一言だけ」,『家庭共育セミナー・学習資料』No2, (財)修養団, 12-15頁。

VI. 調査報告

- ・斎藤哲瑯,「『保護者』と『中高校生』の調査結果とのクロス」, 文部省委嘱『家庭教育をめぐる中高校生と親の意義に関する調査報告書』, 今日的課題に関する家庭教育研究会, 44-56頁。

7 生涯教育と学校教育 (学校改革・学校開放も含む)

I. 著 書

- ・池木清,『女性と学校教育』, 日本橋女学館短期大学。
- ・藤岡英雄,『生涯学習需要の構造と大学開放～徳島県における実証的研究～』, 教育出版センター。

II. 編 書

- ・小野元文・香川正弘,『広がる学び開かれる大学：生涯学習時代の新しい試み』, ミネルヴァ書房, 全 246 頁。

IV. 雑誌論文

- ・浅井経子,「生涯学習と学校教育」,『信濃教育』1334号, 信濃教育会, 11-18 頁。
- ・浅井経子,「主体的な学習活動を促す地域資源の活用」,『初等教育資料』684号, 東洋館出版, 58-65 頁。
- ・浅井経子,「テレビ会議システムを利用した遠隔公開授業のあり方と課題ー淑徳短期大学と福島県の七公民館の実験事例ー」,『視聴覚教育』52巻5号, (財)日本視聴覚教育協会, 14-17 頁。
- ・池木清,「高等教育の需要の変化に即応せよ」,『大学教育学会誌』第20巻第1号, 大学教育学会, 39-42 頁。
- ・池木清,「これからの女子学生教育に求められる職業意識の育成」,『秘書教育研究』第6号, 日本秘書教育学会, 72-77 頁。
- ・池木清,「ジェンダーにとらわれた学校教育の現実とその考察」,『女子教育研究』第23号, 日本橋女子館短期大学, 1-27 頁。
- ・今西幸蔵,「第三の教育改革と高校教育」,『関学教職教育』第3号, 関西学院大学教職課程室, 57-66 頁。
- ・今西幸蔵,「多様化へ向かう定通高校」,『生涯学習社会における学校教育と学校外教育の役割と連携』, 大阪府立女子大学生涯学習研究センター, 126 頁-155 頁。
- ・岡本包治,「住民が支えるフリースクールの研究」,『社会教育』第53巻1号, 全日本社会教育連合会, 44-47 頁。
- ・岡本包治,「村長らの講義を活用した学校教育」,『社会教育』第53巻9号, 全日本社会教育連合会, 52-55 頁。
- ・坂本登,「社会融合のパターン・イメージ」, 月刊『公民館』通巻第491号, (社)全国公民館連合会, 4-11 頁。
- ・住岡英毅,「大学と地域社会教育」, 日本社会教育学会編『日本の社会教育』

第42集（高等教育と生涯学習），東洋館出版社，80-90頁。

- ・住岡英毅，「生涯学習社会における教育学部像」，『滋賀大学生涯学習教育研究センター研究集録』1998-II，1-9頁。
- ・高束康雄，「子どもにとって『わかる授業』『楽しい授業』とは何か」，『学校経営』43-13，第一法規出版（株），6-12頁。
- ・高束康雄，「情報手段を活用する基礎的な資質・能力をいかに系統的に培っていくか」，『教職研修』27-2，（株）教育開発研究所，58-61頁。
- ・高束康雄，「情報能力の捉えなおしと学校運営の総合化を期待する」，『国語教育』別冊4，明治図書出版（株），7-9頁。
- ・田中雅文，「市民大学における地域と高等教育機関のパートナーシップ」，日本社会教育学会編『日本の社会教育』第42集（高等教育と生涯学習），東洋館出版社，91-100頁。
- ・西村美東士，「心を育てる…ええっ，なんということをー成人教育の視点から『心を育てる』をとらえ直すー」，月刊『公民館』494号，全国公民館連合会，4-11頁。
- ・堀井啓幸，「チャートでつかむ『中教審「今後の地方教育行政の在り方」答申』」，『総合教育技術』第53巻第13号，小学館，54-57頁。
- ・堀井啓幸，「統計・資料にみる『総合的な学習の時間』の考察ー教課審答申にみる『時間』設定の理由と現実ー」，『学校経営』第43巻第10号，第一法規，31-37頁。
- ・山崎清男，「生涯学習社会における学社連携」，『大分大学教育学部研究紀要』第20巻第1号，大分大学教育学部，143-152頁。
- ・山本恒夫，「学社融合時代を迎え学校教育は何をなすべきか」，『信濃教育』第1334号1月号，信濃教育会，4-10頁。
- ・山本恒夫，「『家庭・地域との連携』で教師の創意を生かすには」，『総合教育技術』第54巻第1号4月号，小学館，28-31頁。
- ・山本恒夫，「生涯学習社会の大学の役割」，『静岡大学生涯学習教育研究センター紀要「生涯学習・教育・研究」』第1号，同センター，11-16頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子，「生涯学習と学校」，『平成9年度信教・生涯学習講座の記録』，

信濃教育会長野県生涯学習センター，9-39 頁。

- ・伊藤俊夫，「学社融合の展開」，『研究紀要「学社融合と少年自然の家Ⅱ」』，全国少年自然の家連絡協議会，1-6 頁。
- ・沖吉和祐，「障害者の生涯学習と高等教育」，『身体に障害を持つ社会人に対する高等教育のあり方に関する調査研究』，筑波技術短期大学，213-222 頁。
- ・佐伯信男，「どなたでも学べますー金沢大学大学教育開放センター」，小野元之・香川正弘『広がる学び・開かれる大学』，ミネルヴァ書房，77-89 頁。
- ・瀬沼克彰，「発展する大学の条件」，ビジネス協議会編『大学ビッグバン』，日本地域社会研究所，13-31 頁。
- ・瀬沼克彰，「リカレント教育で人を活かす」，『日本の潮流'99』，電通総合研究所，48-59 頁。
- ・田中雅文，「市民性教育から見た学社連携ー学校ビオトープの導入をめぐるー」，明石要一編『新・地域社会学校論』，ぎょうせい，186-210 頁。
- ・伴恒信，「岐路に立つ短期大学ージュニア・カレッジとコミュニティ・カレッジの興亡史から」，佐伯胖他編岩波講座「現代の教育」第 10 巻『変貌する高等教育』，岩波書店，242-266 頁。
- ・藤岡英雄，「『継続学習者』と公開講座の機能ー大学公開講座に関する若干の考察ー」，日本社会教育学会編『日本の社会教育』第 42 集（高等教育と生涯学習），東洋館出版社，126-135 頁。
- ・堀井啓幸，「学校と家庭の教育機能の分担と連携をどう図っていくか」，児島邦宏編『特色ある教育活動と学校経営』，教育開発研究所，128-131 頁。
- ・堀井啓幸，「ボランティア活動」，亀井浩明・有園格・佐野金吾編『キーワードで読む教課審答申』，ぎょうせい，34-36 頁。
- ・前田寿紀，「生涯学習社会における大学開放に関する一考察」，『淑徳大学社会学部研究紀要』第 32 号，淑徳大学，259-286 頁。

VI. 調査報告

- ・日本生涯学習総合研究所（研究主査・伊藤俊夫），「高等教育機関における

職業人受け入れに関する研究」、『生涯学習活動の促進に関する研究開発』、日本生涯学習総合研究所、1-132 頁。

- ・岡本包治、「学生ボランティア活動の振興のために」、『学生のボランティア活動に関する調査－現状と課題』、(財)内外学生センター、68-71 頁。
- ・上條秀元・原義彦、「宮崎大学教官の生涯学習支援に対する意識と実態」、宮崎大学生涯学習教育研究センター『生涯学習研究』第3号、29-71 頁。
- ・瀬沼克彰、「高等教育機関における社会人受け入れ状況調査」、『高等教育機関における職業人受け入れ拡充に関する研究』、日本生涯学習総合研究所、25-44 頁。
- ・瀬沼克彰、「横浜市における高等教育機関との連携」、『高等教育機関における職業人の受け入れ拡充に関する研究』、日本生涯学習総合研究所、82-85 頁。
- ・田中雅文、「公開講座の企画・運営における『地域参加』方式－ウィメンズ・ライフロング・カレッジの経験をととして－」、矢野真和編『高等教育システムと費用負担』、東京工業大学、150-165 頁。

8 生涯教育と地域社会

1. 著 書

- ・今西幸蔵、「亀岡市の生涯学習都市のハードをたずねる」、福留強編『生涯学習都市 亀岡はいま』、教育新聞社。

IV. 雑誌論文

- ・岡本包治、「生涯学習によるまちづくり－学習成果の社会人還元活動－」、『都市問題研究』第50巻第2号(通巻560号)、都市問題研究会、68-80 頁。
- ・岡本包治、「『ガリバー』でまちと人の活性化」、『社会教育』第53巻2号、全日本社会教育連合会、44-47 頁。
- ・岡本包治、「住民の企画・運営で150講座」、『社会教育』第53巻11号、全日本社会教育連合会、38-41 頁。

- ・岡本包治,「住民組織が自前で行う『大学』,『社会教育』第53巻5号,全日本社会教育連合会,78-81頁。
- ・瀬沼克彰,「住民参加住民主導に向かう生涯学習」,『社会教育』5月号,全日本社会教育連合会,12-15頁。
- ・瀬沼克彰,「21世紀の生涯学習とまちづくり」,『年報'98』,福武文化振興財団,12-13頁。
- ・田中雅文,「学習機会のNPOモデルへの期待」,『社会教育』4月号,(財)全日本社会教育連合会,18-20頁。
- ・山崎清男,「日出町における社会教育」,『地域総合研究論文集別府湾沿岸地域』,大分大学教育学部,291-300頁。

V. 編纂書論文

- ・瀬沼克彰,「パートナシップによる生涯学習の支援」,『講演速記録'97年版』,岩手県生涯学習推進センター,17-21頁。

VI. 調査報告

- ・伊藤俊夫,「交流体験活動の展開」,『都市・農村住民の相互活動に関する調査報告書』,地域間家族滞在交流研究会,58-64頁。
- ・田中雅文,「社会教育を推進するNPOの現状と課題」,生涯学習NPO研究会『社会教育の推進とNPO』,(平成9年度文部省委嘱事業),52-55頁。

9 生涯教育と企業内教育

IV. 雑誌論文

- ・山崎清男・深尾誠,「企業における生涯学習の調査研究」,『大分大学経済論集』第50巻第3号,大分大学経済学部,64-73頁。

10 生涯教育と放送・通信教育

IV. 雑誌論文

- ・高桑康雄, 「TV 番組の子どもに対する規制と問題」, 『情報通信学会誌』 16-1, 情報通信学会, 16-22 頁。

V. 編纂書論文

- ・Yasuo Takakuwa, “Educational Technology and Lifelong Learning-The Japanese case”, 『中華民国教学科技与終身学習国際學術研討会要項』, 國立台灣師範大学, 7-8 頁。

VI. 調査報告

- ・斎藤哲瑯, 「アメリカにおける教育テレビ放送と法制度」, 『アメリカにおけるテレビ放送の質の向上に関する調査報告書』, (財) 民間放送教育協会, 5-12 頁。
- ・高桑康夫, 「アメリカにおける子どものテレビに関する規制をめぐる状況」, : 『アメリカにおけるテレビ放送の質の向上に関する調査報告書』, (財) 民間放送教育協会, 13-17 頁。

11 生涯教育と関連教育施設

(生涯教育センター・社会教育センター・公民館・文化センターなど諸施設論を含む)

IV. 雑誌論文

- ・池田秀男, 「地方分権の推進と公民館のあり方」, 月刊『公民館』 10 月号, 全国公民館連合会, 4-9 頁。
- ・岡本包治, 「公共施設のネットワーク化」, 『教育と施設』 No.60 春号, 文教施設協会, 53-55 頁。
- ・瀬沼克彰, 「生涯学習センターの整備と運営のあり方」, 『生涯学習空間』

No12, ボックス, 6-11 頁。

- ・瀬沼克彰,「東京にみる生涯学習ネットワーク化を考える」,『社会教育』10月号,全日本社会教育連合会,35-39頁。
- ・原義彦,「公民館事業Q&A事業を記録する」,月刊『公民館』第490号,全国公民館連合会,31-34頁。
- ・原義彦,「マーケティング発想からの公民館経営診断についてー公民館の経営上の問題を特定する技法ー」,『社会教育』第53巻第2号,全日本社会教育連合会,18-21頁。
- ・蛭田道春,「公民館と民間教育事業との連携と民間教育事業への施設提供」,『社会教育』第53巻5月号,全日本社会教育連合会,24-28頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子,「図書館ボランティアの可能性ー個人学習への支援ー」,北嶋武彦ほか編『図書館持論』,東京書籍,146-154頁。
- ・伊藤俊夫,「生涯学習時代の公民館」,『No.46・全国公民館大会記録』,(社)全国公民館連合会,14-31頁。
- ・伊藤俊夫,「生涯学習時代における図書館」,『北日本図書館大会記録』,北日本図書館連盟,8-15頁。
- ・伊藤俊夫,「生涯学習社会と公民館の果たす役割」,『北海道公民館大会集録』,北海道公民館協会,29-39頁。
- ・岡本包治,「21世紀に向かっての公民館のあり方」,『第36回東海北陸公民館大会記録』,東海北陸公民館連合会,50-66頁。
- ・原義彦,「公民館経営診断のための利用構造モデルの作成」,日本生涯教育学会編『日本生涯教育学会年報』第19号,83-94頁。
- ・原義彦,「社会教育の施設」,新現代図書館学講座1山本恒夫編『生涯学習概論』,東京書籍,107-124頁。
- ・前田寿紀,「千葉市における生涯教育・学習関連機関・施設等の連携・協力に関する研究」,千葉市,1-32頁。
- ・山本恒夫,「社会教育施設情報化・活性化の必要性について」,青森県社会教育施設情報化・活性化推進実行委員会編『社会教育施設の情報化・活性化推進事業1年次報告書』,同委員会,16-26頁。

VI. 調査報告

- ・香川正弘,『生きがい対策事業のあり方及びこれを活用した福祉施設の経営改善に関する調査・研究会報告書』, (社)全国国民年金福祉協会連合会, 全 59 頁。
- ・瀬沼克彰,「生涯学習官民連携モデルの構想と見本的モデル」,『官民連携モデルによる学習機会提供システムの構築』, 全国民間カルチャー事業協議会, 77-90 頁。
- ・林幸克,「掲載記事の分析」, (研究代表者平澤茂)『公民館における生涯学習情報提供および学習相談の実態に関する調査報告書』, 社団法人全国公民館連合会, 41-63 頁。

12 学習情報・相談

IV. 雑誌論文

- ・瀬沼克彰,「平成 9 年の生涯学習関連文献」,『季刊スコレー』92 号, 全国余暇行政研究協議会, 25-31 頁。
- ・高橋利行,「生涯学習支援情報ネットワーク構築に関する一考察」,『教育学研究集録』第 22 集, 筑波大学大学院博士課程教育学研究科, 63-75 頁。
- ・高橋利行,「生涯学習支援情報ネットワーク最適化の理論的検討ー可達性の観点からー」,『日本生涯教育学会論集』19, 日本生涯教育学会, 9-16 頁。
- ・堀井啓幸,「統計・資料にみるマルチメディア利用の実態と課題」,『学校経営』第 43 巻第 14 号, 第一法規, 43-51 頁。

V. 編纂書論文

- ・浅井経子,「学習相談の意義」, 山本恒夫編『生涯学習概論』, 東京書籍, 142-161 頁。
- ・浅井経子,「高度情報化と学習相談」,『社会教育施設情報化・活性化推進事業 1 年次報告書』, 青森県社会教育施設情報化・活性化推進実行委員

会, 27-49 頁。

- ・浅井経子, 「生涯学習社会における文化・学習情報提供の現状と課題」, 『第 11 回全国文化・学習情報提供機関ネットワーク会議報告書』, 全国文化・学習情報提供機関ネットワーク協議会ほか, 11-26 頁。

13 人材活用

IV. 雑誌論文

- ・岡本包治, 「夫婦で行うボランティア活動の効用」, 月刊『すこーれ』第 202 号, 国際スコレ協会, 13-16 頁。
- ・岡本包治, 「いろいろなボランティア活動 I, II,」月刊『すこーれ』第 203 号, 第 204 号, 国際スコレ協会, 13-16 頁。
- ・岡本包治, 「NPO による地域づくり活動」, 『社会教育』第 53 巻 3 号, 全日本社会教育連合会, 54-57 頁。
- ・岡本包治, 「市民ボランティアの多彩さでまちづくり」, 『社会教育』第 53 巻 8 号, 全日本社会教育連合会, 48-51 頁。
- ・岡本包治, 「地域の人材の発掘と活用」, 月刊『公民館』第 499 号, 全国公民館連合会, 4-8 頁。
- ・岡本包治, 「ライフスタイルの変化とボランティア活動」, 『判例地方自治』, No.172, ぎょうせい, 112-113 頁。

V. 編纂書論文

- ・岡本包治, 「余暇とボランティア活動」, 『余暇学研究』第 1 号, 日本余暇学会, 27-29 頁。
- ・山本恒夫, 「生涯学習社会のボランティアと図書館」, 北嶋武彦・中森強・中野猛・山本恒夫編『図書館学持論』, 東京書籍, 139-146 頁。

VI. 調査報告

- ・蛭田道春, 「これからの指導者養成講座のあり方をめぐって」, 『「指導者養成系講座の今後のあり方について」報告書』(財)埼玉県県民活動総合センター, 15-18 頁。

14 生涯教育と行政施策（答申・報告書等も含む）

I. 著 書

- ・池木清、『国際婦人年と国連婦人の10年の軌跡』，日本橋女学館短期大学。

IV. 雑誌論文

- ・池木清，「都道府県別に見た教育界の女性進出度と女性の働きやすさ指標との関係」，『女子教育研究』第23号，日本橋女学館短期大学，29-42頁。
- ・池木清，「公立学校の教員人事は男女平等か」，『女子教育研究』第21号，日本橋女学館短期大学，1-24頁。
- ・池木清，「公立学校の教員人事は男女平等か(2)」，『女子教育研究』第22号，日本橋女学館短期大学，1-27頁。
- ・上寺康司，「教育思想を基盤とするまちづくり」，中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第44巻第一部，中国四国教育学会，264-269頁。
- ・岡本包治，「スコレータウン（学問の町）のまちづくり」，『社会教育』第53巻6号，全日本社会教育連合会，54-57頁。
- ・岡本包治，「まちづくり町民大学の研究」，『社会教育』第53巻4号，全日本社会教育連合会，50-53頁。
- ・坂本登，「ネットワーク型行政のすすめ－具体的方策の提案－」，『社会教育』第53巻10号，（財）全日本社会教育連合会，8-10頁。
- ・瀬沼克彰，「文化行政は振興から支援へ」，月刊『自治フォーラム』11月号，第1法規，14-20頁。
- ・瀬沼克彰，「生涯学習の10年と今後の行政の役割」，『エイジング』15巻4号，エイジング総合研究センター，12-17頁。
- ・瀬沼克彰，「東京における生涯学習の連携実態」，『季刊カルチャーエイジ』32号，全国民間カルチャー事業協議会，22-25頁。
- ・瀬沼克彰，「生涯学習行政と民間教育事業の連携」，『季刊カルチャーエイジ』No33，全国民間カルチャー事業協議会，13-16頁。
- ・瀬沼克彰，「国の余暇行政の歴史」，『季刊スコレー』No93，全国余暇行政

研究協議会, 16-22 頁。

- ・瀬沼克彰, 「国の余暇行政の現状」, 『季刊スコレー』 No94, 全国余暇行政研究協議会, 16-26 頁。
- ・瀬沼克彰, 「余暇の官民連携の方策」, 『季刊スコレー』 No95, 全国余暇行政研究協議会, 4-10 頁。

V. 編纂書論文

- ・伊藤俊夫, 「生涯学習推進における社会教育行政の役割」, 『北海道社会教育推進研究協議会集録』, 北海道社会教育委員連絡協議会, 7-14 頁。
- ・池田秀男, 「男女共同参画社会をめざして」, 『平成9年度福山地区社会教育連絡協議会・講演録』, 広島県福山教育事務所, 1-23 頁。
- ・池田秀男, 「男女共同参画のまちづくりフォーラム記録集」, 『東広島市男女共同参画のまちづくり実行委員会』, 東広島市, 1-39 頁。
- ・池田秀男・山邊光宏・葛原生子, 『平成9年度ウイメンズカレッジひろしま報告書』, 広島県立生涯学習センター, 1-4 頁。
- ・岡本包治, 「生涯学習のまちづくり」, 『高山市生涯学習フォーラム報告書』, 高山市教育委員会, 27-41 頁。
- ・瀬沼克彰, 「とちぎ文化ビジョン」, 『栃木県文化振興ビジョン』, 栃木県, 1-23 頁。

VI. 調査報告

- ・山本恒夫, 『加賀市生涯学習市民意識調査報告書』, 石川県加賀市生涯学習推進本部, 全 28 頁。

15 生涯教育の推進事例

IV. 雑誌論文

- ・岡本包治, 「ひたち百年塾運動の発展」, 『社会教育』 第 53 卷 12 号, 全日本社会教育連合会, 52-55 頁。

V. 編纂書論文

- ・澤野由紀子,「北区民大学修了生の会－『市民大学』における学習成果の活用」,『全国の市区町村における家庭と学校・学校外教育施設の連携』,日本余暇文化振興会, 61－67 頁。

16 諸外国の生涯教育

I. 著 書

- ・山田礼子,『プロフェッショナル・スクール－アメリカの専門職養成』,玉川大学出版部, 1－270 頁。

IV. 雑誌論文

- ・加藤かおり,「カナダにおけるメディア・リテラシー」,『週間教育資料』第 601 号, 日本教育新聞社, 34－35 頁。
- ・加藤かおり,「国際機関中心に第 2 の波－世界における生涯学習の動向」,『内外教育』, 時事通信社, 10－12 頁。
- ・加藤かおり(山本慶裕・澤野由紀子・鬼頭尚子共著),「生涯学習社会への移行に関する国際比較研究, 第 2 節ヨーロッパ地域」,『日本生涯教育学会論集』19, 日本生涯教育学会, 101－108 頁。
- ・猿田真嗣,「ジョージア大学継続教育センターの構造と機能に関する覚書(1)」,『徳島大学大学開放実践センター紀要』第 9 巻, 1－23 頁。
- ・山田礼子,「欧米の学位制度と修士学位－アメリカの大学院課程の事例－1 年制修士課程を中心に」,『学位研究』第 8 号, 学位授与機構, 24－33 頁。
- ・山田礼子,「社会人にとっての大学院とは」,『社会教育』624 号, 全日本社会教育連合会, 24－28 頁。

V. 編纂書論文

- ・池田秀男,「生涯学習をすべての人に－21 世紀に向けた OECD の生涯学習政策－」,『安田女子大学生涯学習研究所・生涯学習論集』第 1 集, 安田

女子大学, 23-33 頁。

- ・金子忠史, 「就学から就職の移行過程にみられめるカリキュラムの統合」, 現代アメリカ教育研究会編『カリキュラム開発をめざすアメリカの挑戦』, 教育開発研究所, 63-91 頁。
- ・金子忠史, 「ボーイスカウトの Learning for Life プログラム - School-To-Work Program の展開を中心に -」, 国立教育研究所特別研究『学校と地域社会との連携に関する国際比較研究』中間報告書Ⅱ, 国立教育研究所, 1-14 頁。
- ・堀井啓幸, A Case Study of School Facilities at Dreilinden Grundschule in Berlin, 『学校経営研究』第 23 巻, 大塚学校経営研究会, 88-94 頁。

VI. 調査報告

- ・国立教育研究所(研究代表者金子忠史), 「学校外教育施設及び地域社会の教育力の活用～学校 5 日制の視点から～」, 『科学研究書国際芸術研究報告書』, 国立教育研究所, 153 頁。
- ・澤野由紀子, 「『市民社会』への移行を促す生涯学習体系の構築－ウズベキスタン共和国の教育改革－」, 『ロシアユーラシア経済調査資料』第 798 号, ユーラシア研究所, 2-11 頁。
- ・澤野由紀子, 「スウェーデンの成人教育」, 『ヨーロッパにおける成人教育の現状に関する調査研究』(実施報告書), 日本余暇文化振興会, 49-53 頁。
- ・澤野由紀子, 「デンマークの成人教育」, 『ヨーロッパにおける成人教育の現状に関する調査研究』(実施報告書), 日本余暇文化振興会, 37-42 頁。
- ・澤野由紀子, 「ノルウェーの成人教育」, 『ヨーロッパにおける成人教育の現状に関する調査研究』(実施報告書), 日本余暇文化振興会, 43-47 頁。
- ・澤野由紀子, 「北欧の成人教育」, 『ヨーロッパにおける成人教育の現状に関する調査研究』(実施報告書), 日本余暇文化振興会, 33-35 頁。
- ・澤野由紀子, 「ロシア連邦における家庭と学校・学校外教育施設の連携」, 『学校と地域社会の連携に関する国際比較研究』(中間報告書(Ⅱ)), 国立教育研究所, 322-331 頁。
- ・山田礼子, 「アメリカの大学院課程の事例－1 年制修士課程を中心に」,

『生涯学習活動のための大学院制度の弾力化に関する調査研究』, 文部省, 19-27 頁。

- ・山田礼子, 「専門職・アクレディテーション団体の基準例」, 『生涯学習活動のための大学院制度の弾力化に関する調査研究』, 文部省, 41-46 頁。

17 そ の 他

I. 著 書

- ・根木昭 (枝川明敬・垣内恵美子・溝上智恵子・栗原祐司), 『美術館政策論』, 晃洋書房, 1-270 頁。

IV. 雑誌論文

- ・根木昭 (溝上智恵子・小川眞佐志), 「国際開発・国際協力の人材養成プログラムについて」, 『開発技術』 vol. 4, 開発技術学会, 21-41 頁。
- ・根木昭 (大橋敏博), 「文化財を活用したまちづくりにおける関係法制の交錯とその運用」, 『文化経済学』第1巻第1号, 21-26 頁。
- ・根木昭, 「第2章日本の文化政策の諸視点1. 文化政策の視点」, 『NIRA 政策研究 (文化政策への提言)』5月号, 総合研究開発機構, 22-27 頁。
- ・根木昭 (垣内恵美子), 「文化政策に求められる総合性と求心性」, 『文化経済学会〈日本〉年次大会予稿集』, 文化経済学会〈日本〉, 86-89 頁。
- ・根木昭 (垣内恵美子), 「文化政策審議機関による政策提言の変遷」, 『文化経済学会〈日本〉年次大会予稿集』, 文化経済学会〈日本〉, 128-131 頁。

V. 編纂書論文

- ・根木昭, 「文化政策としてのアートマネジメント」, (社) 日本照明家協会『新編・舞台テレビジョン照明 (知識編)』, (社) 日本照明家協会, 76-80 頁。
- ・根木昭, 「第1章文化政策の視点」, NIRA 研究報告書『マネジメントと文化政策』, 総合研究開発機構, 9-20 頁。
- ・根木昭, 「第4部第5章文化政策のダイナミズムー新たな枠組みの構築に

向けて」，佐々木晃彦編『文明と文化の視角－進化社会の文化経済学』東海大学出版会，231－240 頁。

VI. 調査報告

- ・根木昭（古谷千里・黒田卓・片桐一夫），「情報通信技術の教育利用に関する実証的研究－南極基地との通信およびその成果の発信」，『電気通信普及事業団研究調査報告書』第 12 号，電気通信普及事業団，253－263 頁。
- ・根木昭，「第Ⅰ部第 1 章文化政策の新たな展開」，科学研究費基盤研究報告書『芸術文化指標の設定と文化データ収集のための手法に関する研究』，3－14 頁。
- ・根木昭，「第Ⅱ部文化に係わる諸提言の軌跡」，科学研究費基盤研究報告書『芸術文化指標の設定と文化データ収集のための手法に関する研究』，69－108 頁。
- ・根木昭，「第Ⅲ部芸術と行政－文化庁芸術課の平成元年－」，科学研究費基盤研究報告書『芸術文化指標の設定と文化データ収集のための手法に関する研究』，109－197 頁。
- ・根木昭，「第Ⅰ部我が国の文化政策の構造と今後の方向」，サントリー文化財団助成研究報告書『我が国の文化政策の今後の在り方に関する調査研究』，1－21 頁。
- ・根木昭，「第Ⅱ部第 1 章各県の文化振興指針に見る文化政策の方向」，サントリー文化財団助成研究報告書『我が国の文化政策の今後の在り方に関する調査研究』，23－32 頁。

VII. その他

- ・香川正弘，「香川正弘教授・柏原保久理事長対談」，『郷学のすすめ』，水西クラブ，121－155 頁。